生命科学・医学系研究実施のお知らせ (ver1.2)

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	de novo 動脈瘤の発生率に関する疫学研究 An epidemiological study on the incidence rate of de novo aneurysms		
1.研究の目的と方法	本研究は、脳の血管にできるコブ（脳動脈瘤：のうどうみゃくりゅう）が新しくできる仕組みや、大きくなる原因を明らかにすることを目的としています。脳動脈瘤は破裂すると命に関わる重大な病気を引き起こすため、その予防や適切な治療方針を決めることが重要ですが、もともとコブのない健康な方にどのように新しくコブができるのかについては、これまで世界的に見ても詳しいデータがほとんどありませんでした。そこで本研究では、過去に当院で脳動脈瘤の治療や経過観察を受けられた患者さんのデータと、汐留健診クリニックで脳ドックを受けられた健康な方のデータを集めて比較・分析します。具体的には、両方のグループの中で、定期的な検査の途中で新しく脳動脈瘤ができた方を対象に、これまでに撮影された頭部の画像（MRA や CT など）が時間の経過とともにどのように変化したかを調べます。同時に、診療録（カルテ）の記録から、年齢や性別、高血圧などの持病、喫煙歴などを確認し、どのような方にコブができやすく、また大きくなりやすいのかという危険因子を詳しく調査します。なお、本研究は過去の画像やカルテの記録のみを使用するものであるため、患者さんや受診者の方に新たな検査や費用などの負担、お身体へのリスクが生じることは一切ありません。		
2.研究期間	倫理委員会承認日～2027 年 12 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。		
3.対象となる方等	頭蓋内脳動脈瘤の患者さんで、2003 年 1 月 1 日～2026 年 5 月 31 日の間に東京慈恵会医科大学附属病院にて脳動脈瘤の診断を受けたあるいは脳血管内手術を受けた 18 歳以上の方。および汐留健診クリニックにて健康診断のために頭部 MRI を施行した患者さん		
4.研究に利用する試料・情報について	(1)試料の種類	試料は使用しません。	
	(2)試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3)情報の種類	診断名、性別、年齢、身体所見、治療時の手術機材情報、術前後の患者さんの状態、予後について	
	(4)情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5.研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1)当施設の研究責任者または研究代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学　脳神経外科学講座
		氏名	石橋　敏寛
	(2)当施設の長	東京慈恵会医科大学　学長　松藤千弥	
	(3)当施設の試料・情報の管理責任者	東京慈恵会医科大学　脳神経外科学講座　石橋敏寛	

	(4)共同で研究を実施する施設とその責任者	汐留健診クリニック　　小金井佐知子院長
6.試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究で収集・取得された情報は、患者さんのお名前やカルテ番号などの個人情報を削除し、新たに研究用の ID や番号をつけてから、5(1)に記載された研究代表機関のもとに、以下の方法で集められます。 提供方法：追跡可能な方法で郵送あるいはパスワードを掛けた電子ファイルをメール送付 情報の利用開始予定日：2026 年 7 月より	
【問い合わせ先】	機関名： 東京慈恵会医科大学　脳神経外科学講座 研究責任者：教授　石橋　敏寛（いしばし としひろ） 電話番号：03-3433-1111（内線 3461） ＜個人情報保護相談窓口＞ 附属病院本院:03-5400-1272(直通) 対応時間:午前 9 時~午後 4 時/休診日を除く	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。